

日本道路協会からのお知らせ

協会発刊図書の電子図書利用サービスのご案内 (2024年4月開始予定)

1. はじめに

日本道路協会では、建設業界の生産性向上を支援し、リモートワークなどの働き方改革に対応するため、道路関係の基準類の書籍である協会発刊図書の電子図書利用サービスを2024年4月から開始する予定です。建設系の基準類の本格的な電子書籍化は日本初の取り組みです。

膨大な基準類書籍の電子化をして欲しいという関係者からの強いご要望を踏まえ、これまで道路関係の業界団体との意見交換を重ね、サービスの提供方法、使える機能、対象図書の検討をしてまいりました。この度、サービスの概要を決定しましたので、その内容をご紹介します。

2. 採用予定の電子図書システムについて

図書の電子化にあたっては、「①道路協会の公式サイトでの図書販売であり、安心して利用することが出来る事」、「②協会図書の最新版を確実に入手することが出来る事」、「③利用者のニーズに合わせた機能(印刷、付箋等)の搭載が可能で、使いやすい事」など、利用者の利便性を優先的に考えた結果、「公式サイト内での協会独自の電子図書販売サービス」で電子図書化をすることといたしました。

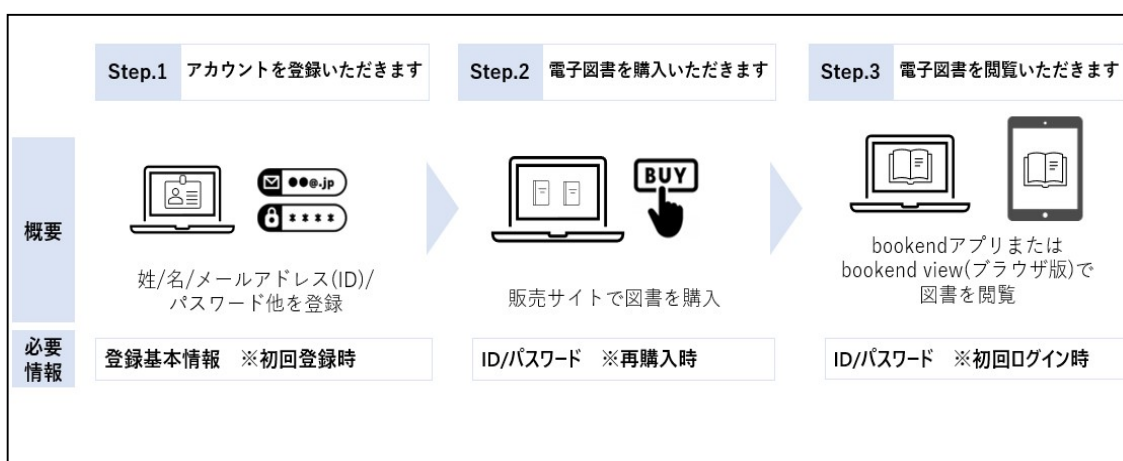
電子図書システムは、最も実績があり(大手出版社や他協会図書等)、かつ利用者評価も高いシステムである「電子図書を購入するシステム(Shopify)」と、「電子図書を閲覧するシステム(bookend)」を連携させた形式を採用し、開発を進めています。



3. 電子図書のご利用の流れ

図書の閲覧をするまでには、「①アカウント登録」「②図書購入」「③図書閲覧」の3ステップで完了する事ができます。図書購入時の支払い方法は、1. クレジットカード、2. 電子決済サービス、3. 銀行振込、4. 掛け払い決済（月末締め請求書払い）、の4種類がご利用頂ける予定です。

電子図書の閲覧は、「bookend view(ブラウザでの閲覧)」と「bookend アプリ(アプリでの閲覧)」の2つの方法で利用できる予定です。アプリに図書をダウンロードすれば、オフライン環境でも閲覧することができます。



4. 使える機能について

電子化するメリットを生かし、索引/キーワード検索、目次から該当ページへジャンプ、テキストのコピー&ペースト、スクリーンショット、付箋、メモ、拡大縮小など、ご要望の多かった機能をご利用頂ける予定です。

○=実装想定 ×=実装不可

順位	電子図書に求める機能	bookend アプリ		bookend view	
		mac/windows	ios/android	mac/windows	ios/android
1	索引/キーワード検索機能	○	○	○	○
2	目次から該当ページへジャンプする機能	○	○	○	○
3	テキストのコピー&ペースト機能	○	×	×	×
4	図表のコピー&ペースト機能※	×	×	×	×
5	スクリーンショット	○	○	○	○
6	印刷機能※	×	×	○	○
7	付箋機能	×	○	○	○
8	拡大縮小機能	○	○	○	○
9	フリーハンドによるアンダーライン機能	×	○	×	×
10	キーボード入力によるメモ機能	×	○	○	○
11	メモ・付箋機能の共有※	×	○	○	○
12	オフライン環境での利用	○	○	×	×

※「4.図表のコピー&ペースト機能」の代わりに、「5.スクリーンショット」機能をご利用下さい。

※「6.印刷機能」については利用に制限がかかる予定です。

※「11.メモ・付箋」については同じアカウント内では共有されます。ただし、アプリとブラウザ間では、付箋、アンダーライン、メモ機能は共有されません。

5. 電子化を予定している図書について

電子化する図書は以下の3点を考慮し、第1弾として主要図書12冊を予定しています。

- ① アンケートで電子化の要望が多かった図書であること
- ② 各専門分野毎に電子図書サービスを提供すること
- ③ 紙版図書で既刊図書であること

【橋梁分野】

道路橋示方書・同解説Ⅰ～Ⅴ編

【交通工学・附属物分野】

道路構造令の解説と運用、附属物(標識・照明)点検必携

【舗装分野】

舗装設計施工指針、舗装施工便覧、舗装設計便覧、舗装点検必携

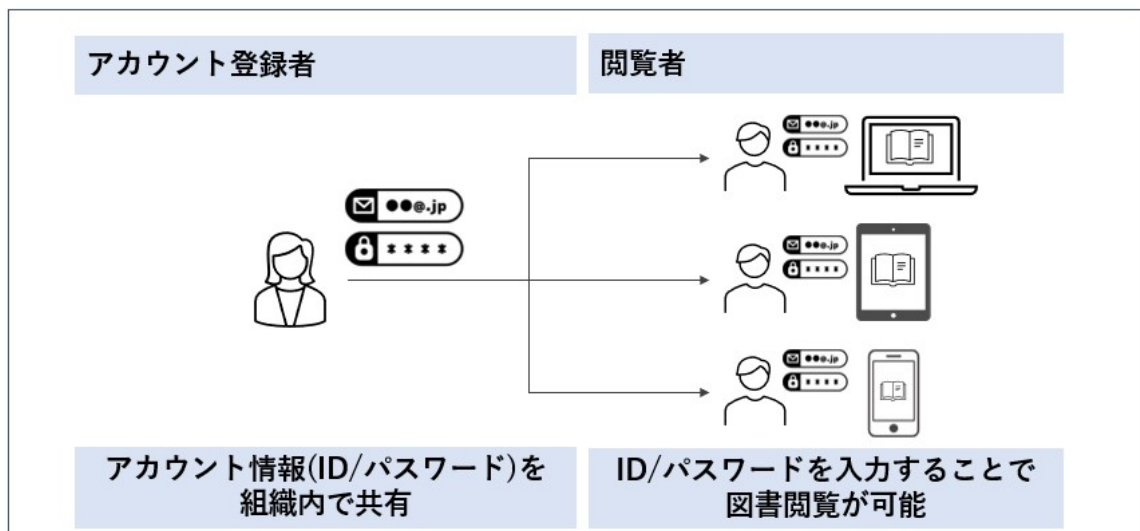
【土工分野】

道路土工要綱

なお、紙版図書の販売は継続します。

6. アカウント共有について

「紙図書同様に組織内で図書を共有/利用できるようにして欲しい」というご要望を受け、本サービスではアカウント情報を共有することで、複数端末での同時閲覧が可能です。



7. アプリ版/ブラウザ版の同時利用端末数について

本サービスではアプリ版・ブラウザ版それぞれで同時利用端末数に応じたダウンロード、同時閲覧が可能です。例えば、「5 端末同時閲覧」の図書を選んだ場合はアプリ版であれば5 端末までダウンロードできます。

(例) 「5 端末同時閲覧」の図書を選んだ場合

bookendアプリ(アプリ版)	Bookend view(ブラウザ版)
	
購入した図書をダウンロードすると閲覧できます。 5端末までダウンロードが可能です。	ブラウザ版はオンライン環境下においてのみ閲覧可能です。 ダウンロードせずに、5端末まで図書を閲覧できます。
	
例) 同時利用端末数が5端末の図書の場合、6端末以降は他端末の図書をWeb書庫に戻すまでダウンロードできません。 (オフラインでもダウンロードされた図書は閲覧可能)	(オフラインでは閲覧不可)

8. 今後の予定について

電子図書利用サービスは2024年4月からの開始を予定しております。2月からは購入方法や操作方法など、ご利用方法の事前説明会を予定しているほか、日本道路協会に問合せ窓口を設置します。

また、サービス開始にあたり、できるだけ多くの皆様に手に取って使って頂き、電子図書の普及を図るため、サービス開始6ヶ月間(2024年4月～9月を予定)を「導入期」とし、導入期に限り「無料※」で電子図書のご利用を頂きます。また、日本道路協会の会員・非会員にかかわらず、どなたでもご利用可能です。

今後も利用者のご要望を聞きながら、次々と図書の電子書籍化を進めてまいります。

※導入期終了後は取得した電子図書はご利用ができなくなります。導入期終了後も同図書の利用を希望する場合は、正規料金で図書を購入して頂く必要があります。